

自然な風景を残して

清教学園中学校 2年

重命 恵美

私は約5年前に、この河内長野市に引っ越してきました。私の住んでいる所は、河内長野市の中でも特に田舎の方なので、一番近くにあるお店でも歩いて10分はかかります。それに、自動販売機もほとんどありません。そんな不便な環境に私は初め、少しガッカリしました。けれどもその反面、家の側には公園があり、自然にあふれています。少し前まではそんな自然の事なんか、全然気にもとめていませんでした。けれども最近になってようやく、こんな当たり前の風景の良さが分かってきました。

例えば、夕方の公園から、小さい子ども達の姿が見えなくなった時。さっきまで遊んでいたブランコが、ひとりで小さく前後にゆれている。そんな一景が目に入ることがあります。そんな時、なぜかどこか懐かしいような、あたたかい気持ちになるのです。まだ中学生なのに、懐かしい、なんて生意気な。と思われるかもしれませんが本当にそう思うのです。説明できないような、そんな気持ちになるのです。だから私は、未来の河内長野市にも、そう思えるような風景を残してほしいと思っています。また、初めの方に書いた、不便な所。そういう所は、少しずつでいいので、改善してほしいと思います。ただし、どんどん減りつつある自然を、ちゃんと守りながら...です。自然がなくなってしまっっては、いくら環境がよくなり、便利になったとしても、何の意味もなさないからです。

私は、未来の河内長野市が、自然と便利さが一緒に歩いていけるような、そんな環境になってくれればいいと思います。何年か後に私がこのまちから出て行く時がきつとくると思います。そして、何十年も後になって、また、このまちに帰ってくる時がきても、あの変わらない風景が

見れたらいいな、と思います。私が今現在書いている、この文章の事を何年たっても忘れずに、心にずっと留めているのは難しい事なのかもしれないけど、いつもあの風景があれば、思いだせると思うのです。この気持ちを忘れないでもっていくことこそ、未来の河内長野市が私の理想に近づく第一歩だと思います。また、私たちのような中学生や、高校生などの若い世代の人達が、自然を守りたい。また、あんな風景を残したい。と本当に強く思うことこそが、未来の私たちのまち、河内長野市を住みよい、いいまちにするのだと思います。